



第47回原産年次大会プログラム

平成26年4月15日(火)～16日(水)

基調テーマ「信頼回復に向けた決意」

平成26年2月26日

一般社団法人 日本原子力産業協会

日本原子力産業協会は、主要活動のひとつとして、国内外から広く関係者の参加を得て、毎年春に「原産年次大会」を開催している。

年次大会では、エネルギー・原子力開発利用上の重要な問題についての意見発表や討論を行い、本大会を通して得られた重要課題とその解決策を見出すための指針を原産としてとりまとめ、国への提言、産業界への問題提起、さらに、マスコミ等を通じて広く社会へ発信することを目的としている。

東京電力福島第一原子力発電所事故から3年近くが経過しているが、福島の被災地域の復興への進みは遅く、福島第一発電所サイトでは汚染水漏洩問題への対応に追われている。現在、新規制基準に基づいた原子力発電所の審査が順次進められているが、原子力が再稼働しないことで火力発電の稼働が増え、わが国の経済社会や環境問題に大きな影響を及ぼしている。今後のエネルギー政策については、国が「エネルギー基本計画」の策定を目指しているとともに、平成25年度内には原子力の自主的安全性向上について提言がまとめられる予定であり、国民の信頼回復に向けた取り組みが求められている。

このような認識のもと、第47回大会は、国民の信頼回復を目指し、福島の復興に向けた課題や世界における原子力の役割を認識し、産業界の決意につなげる議論を交わす場とする。

◆会場

東京国際フォーラム ホールB7

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1

TEL 03-5221-9000

4月15日(火)	4月16日(水)
(9:00より受付)	(9:00より受付)
9:30-12:30 開会セッション ・原産協会会長所信 ・特別講演	9:30-12:30 セッション2 2050年の原子力
12:30-14:00 休憩	12:30-14:00 休憩
14:00-17:30 セッション1 原子力への信頼回復	14:00-17:30 福島セッション 福島の復興と地域再生
17:30-19:00 レセプション	(全セッション日英同時通訳)

■プログラム (大会当日まで変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。)

4月15日(火)	4月16日(水)
<p>開会セッション (9:30-12:30)</p> <p>所信・挨拶： ○今井敬 原産協会会長 等</p> <p>特別講演： ○キャロライン・ケネディ (依頼中) 駐日米国大使 ○岡 芳明 次期原子力委員長 早稲田大学特任教授 ○アレクサンダー・ピチコフ (依頼中) 国際原子力機関 (IAEA) 事務局次長 ○ジャック・レガルド (依頼中) 世界原子力発電事業者協会 (WANO) 会長 ○ジョン・ハムレ (依頼中) 米戦略国際問題研究所 (CSIS) 所長 兼 CEO ○廣瀬 直己 東京電力 代表執行役社長</p>	<p>セッション2 (9:30-12:30)</p> <p>2050年の原子力 2050年に向けて、世界では、人口増加、経済発展に伴い、資源の枯渇や気候変動問題がますます深刻になってくると予想される。 このセッションでは、2050年における各国のエネルギー情勢を鑑み、持続可能な社会に向けた原子力の役割を考える。</p> <p>モデレーター：澤 昭裕 国際環境経済研究所 所長</p> <p>講演： ○上田 隆之 資源エネルギー庁 長官 ○S.K.ジェイン WANO東京センター議長 元インド原子力発電公社 (NPCIL) 総裁 ○ハシム・A・ヤマニ サウジアラビア アブドラ国王原子力再生 エネルギー都市(KACARE) 理事長 ○ジャン・ポール・ポンセラ 欧州原子力産業協会 (FORATOM) 理事長 ○フランクリン・エレパモ・オサイサイ ナイジェリア原子力委員会 委員長</p>
<p>セッション1 (14:00-17:30)</p> <p>原子力への信頼回復 福島第一原子力発電所の事故後、原子力への国民の信頼は失われ、マスコミの調査では再稼働に否定的な意見が多数を占めている。 このセッションでは、信頼回復に向けた産業界の決意を伝えるとともに、国民を含む関係者が関与する仕組みや、科学者の責任や役割などについて、海外の視点を取り入れて議論し、失った原子力への信頼を回復するために取り組むべきことを考える。</p> <p>モデレーター：田中 伸男 日本エネルギー経済研究所 特別顧問</p> <p>基調講演： ○八木 誠 電気事業連合会 会長 ○クリスティン・スピニッキ 米国原子力規制委員会 (NRC) 委員</p> <p>パネル討論： ○八木 誠 電気事業連合会 会長 ○クリスティン・スピニッキ NRC委員 ○アニエッタ・リーシング 世界原子力協会 (WNA) 事務局長 ○マルコム・グリムストーン 英王立国際問題研究所研究員 ○畠澤 守 日本電機工業会 原子力政策委員会 副委員長 ○安井 至 製品評価技術基盤機構 理事長</p>	<p>福島セッション (14:00-17:30)</p> <p>福島の復興と地域再生 福島第一原子力発電所の事故から3年が過ぎるが、いまだ14万人以上の人々が避難を余儀なくされており、福島の復興に向けた道のりは今後も長く続く。一日も早い復興のためには、課題を広く共有し継続して深く議論すること、そして解決に向けた取り組みを全国大で行うことが重要であろう。 このセッションでは、前回の大会に引き続き、海外の例も参考にしながら、福島の人々の声に耳を傾け、地域再生のために取り組むべきことを考える。</p> <p>モデレーター：加藤 秀樹 構想日本 代表</p> <p>基調講演： ○ウラジミール・ウドヴィチェンコ ウクライナ スラブチチ市長</p> <p>パネル討論： ○遠藤雄幸 福島県川内村長 ○瀬谷俊雄 福島商工会議所 相談役 ○丹波史紀 福島大学 うつくしまふくしま 未来支援センター 准教授 ○大和田 新 ラジオ福島 アナウンサー ○ウドヴィチェンコ スラブチチ市長</p>
<p>レセプション (17:30-19:00)</p>	